

成人看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12時間
期間	前期		
単位数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果（アウトカム）

成人期にある患者およびその家族を対象とした急性期看護から慢性期看護に至るまでの過程について説明できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 成人期の特徴と健康問題について、多面的に考えることができる。
2. 治療過程を知り、症状マネジメントの重要性を理解できる。
3. 患者体験を知り、支援に向けたコミュニケーションスキルを修得できる。

・授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/2	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>成長発達段階から見た成人の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人期にある人の、心身的、心理的、社会的特徴と発達課題を理解できる ・成人をとりまく社会環境と生活について概説できる ・成人の健康および健康上の課題について理解できる <p>事前学修：P 39、P 92 演習課題</p>
4/5	月	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人各期に特徴的な健康問題を説明できる ・成人を対象とした保健・医療・福祉政策を理解できる <p>事前学修：P 173 演習課題</p>
4/6	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>健康障害をもつ成人にかかわる基本的な視点へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康生活を支える人間関係を構築する技術・理論が理解できる ・患者の権利と権利擁護の意義と方法を説明できる ・健康の保持・増進のための支援が理解できる <p>事前学修：P224 演習課題</p>

4/7	水	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>急性期：健康の危機的状況にある患者への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期にある成人の健康問題の特徴と看護が理解できる 健康の危機的状況への適応について理解できる 周術期看護について説明できる 回復期看護について説明できる <p>事前学修：P345 演習課題</p>
4/7	水	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性期：慢性期にある成人の健康生活の継続への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> 慢性期にある成人への健康問題の特徴と看護が理解できる 健康行動への行動変容に対する支援が説明できる 健康生活継続への支援が理解できる <p>事前学修：P345 演習課題</p>
4/8	木	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>リハビリテーションを必要とする成人への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションを必要とする成人の健康問題の特徴と看護が理解できる <p>講義・ディスカッション 事前学修：P345 演習課題</p>
4/8	木	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>終末期：人生の最期を迎える人と家族に寄り添う看護</p> <ul style="list-style-type: none"> 終末期にある成人の看護を説明できる 家族への支援が理解できる がん治療を必要とする成人の看護を理解できる 非がん患者の終末期ケアが理解できる <p>事前学修：P35 演習課題</p>

4/9	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>地域・在宅への継続看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院時から退院後の患者の生活を見据えた看護の視点を説明できる ・退院支援における他職種連携の在り方を理解できる ・成人期にある人の退院支援の課題が理解できる <p>事前学修：P374 演習課題</p>
-----	---	---	-----------	----------	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学概論/成人保健 第6版	黒江ゆり子他編著	メジカルフレンド社	2020
教	成人看護学 慢性期看護論 第3版	鈴木志津枝他編著	ヌーヴェルヒロカワ	2019

・成績評価方法

定期試験 90%、課題レポート 10%により評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】
各授業の到達目標を確認し、毎回の授業に対して最低 30 分以上の予習、復習を行い、知識の定着と理解の促進を図ること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。

レポート等課題は、Webclass で課題、書式、提出期限等を確認して、Webclass へ提出のこと提出されたレポートは、評価後適宜コメントを付し、返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影